



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2019年第47週(11/18~11/24)【概要版】

2019年11月28日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) インフルエンザが流行期に入りました。また、過去5年の同時期と比べると非常に多く報告されています。学校等での欠席者数も急増しています。本格的な流行に備えて、予防接種および手洗い・咳エチケット等の感染予防を心掛けてください。
- (2) 感染性胃腸炎は先週と変わらず横ばいですが、大津市、東近江、彦根および高島保健所管内で多く報告されています。
- (3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、草津、甲賀市および東近江保健所管内で多く報告されています。

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	2.77	2.77	2.87				多	↑	↑	多	多		多
インフルエンザ	0.27	0.40	1.85		○	○	多	↑	多	↑		多	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	1.06	1.16				↑	多	多	多			↑

前週の全国および近隣府県の状況(下線: 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>4.08</u>	2.77	<u>5.25</u>	2.73	<u>5.83</u>	2.72	<u>3.16</u>
インフルエンザ	<u>1.84</u>	0.40	<u>0.84</u>	<u>0.72</u>	<u>1.54</u>	<u>1.67</u>	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.58</u>	1.06	<u>2.54</u>	<u>1.74</u>	<u>2.78</u>	0.85	<u>1.64</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	1	2	2	○			1		1			
四類	レジオネラ症	0	0	1									1
五類	梅毒	1	1	1	○		1						
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	○				1				
五類	水痘(入院例)	0	0	1			1						
五類	百日咳	4	0	1	-	-	1						

- i. 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)、百日咳は2018年より全数把握とされているため、本標記対象から除外
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2019年第47週(11/18~11/24)【詳細版】

2019年11月28日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) インフルエンザが流行期に入りました。また、過去5年の同時期と比べると非常に多く報告されています。学校等での欠席者数も急増しています。本格的な流行に備えて、予防接種および手洗い・咳エチケット等の感染予防を心掛けてください。
- (2) 感染性胃腸炎は先週と変わらず横ばいですが、大津市、東近江、彦根および高島保健所管内で多く報告されています。
- (3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、草津、甲賀市および東近江保健所管内で多く報告されています。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県					保健所別(iv)							全国 (前週) (iv)	基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜		高 島	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:52)	インフルエンザ	0.27	0.40	1.85		○	○	3.64	1.30	2.43	1.25	0.29	2.33	0	1.84	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.55	0.45	0.65				0.57	1.50	0.50	1.00	0	0	0	0.58	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.16	0.32	0.32		○		0.43	0.50	0.50	0.40	0	0	0	0.50	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	1.06	1.16				0.43	2.67	1.75	1.60	0	0.33	0.50	2.58	8	4	—
	感染性胃腸炎	2.77	2.77	2.87				4.00	1.17	1.00	6.00	3.00	0.33	3.50	4.08	20	12	—
	水痘	0.23	0.35	0.35				0.71	0.33	0.75	0.20	0	0	0	0.41	2	1	1
	手足口病	0.42	0.26	0.35				0.29	0.17	0.75	0.20	0	0	2.00	1.16	5	2	—
	伝染性紅斑	0.68	0.94	0.58		○	○	0.29	0.50	1.00	1.20	0	0	1.50	0.55	2	1	—
	突発性発しん	0.10	0.13	0.19				0.29	0.33	0.25	0.20	0	0	0	0.39	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.45	0.29	0.19		○		0	0.33	0	0.80	0	0	0	0.16	6	2	—
流行性耳下腺炎	0.03	0	0.16				0.29	0.17	0	0.40	0	0	0	0.08	6	2	3	
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0.13	0.13	0				0	0	0	0	0	0	0.60	8	4	—	
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	0.29	0	0				0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	0.43	0.29	0.14				1.00	0	0	0	0	0	0.51	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0.14				0	0	1.00	0	0	0	0	0.19	—	—	—	

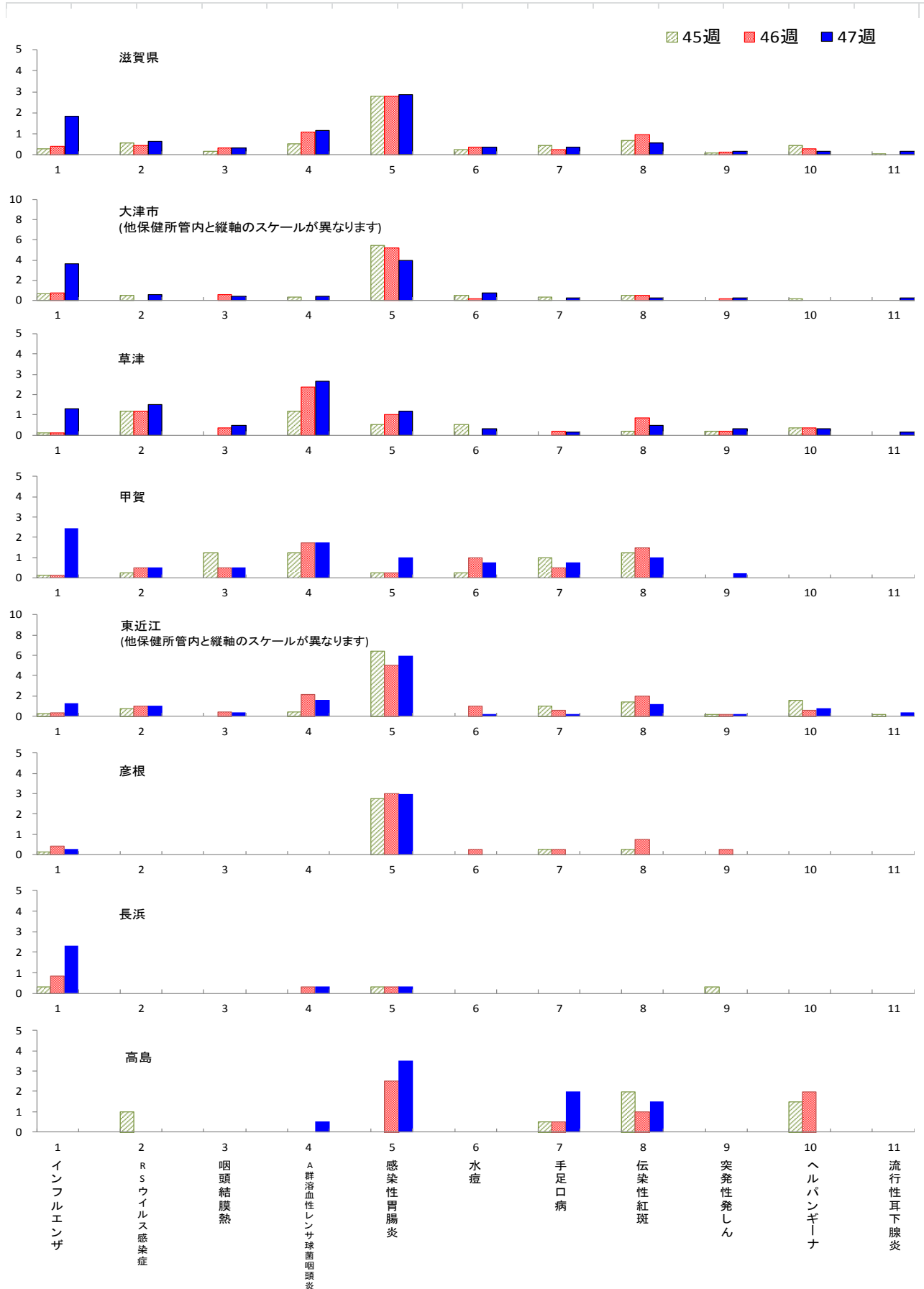
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去2週、縦軸:定点当たり報告数)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	96	-	1	4	1	5	4	5	4	1	4	5	16	6	4	9	13	6	2	1	5
大津市保健所	40	-	1	1	-	-	2	1	2	-	2	3	9	3	1	4	8	2	1	-	-
草津保健所	13	-	-	2	1	3	1	1	-	1	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
甲賀保健所	17	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1	2	1	-	3	1	1	5
東近江保健所	10	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	2	1	-	-	-
彦根保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	14	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	4	-	-	2	3	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

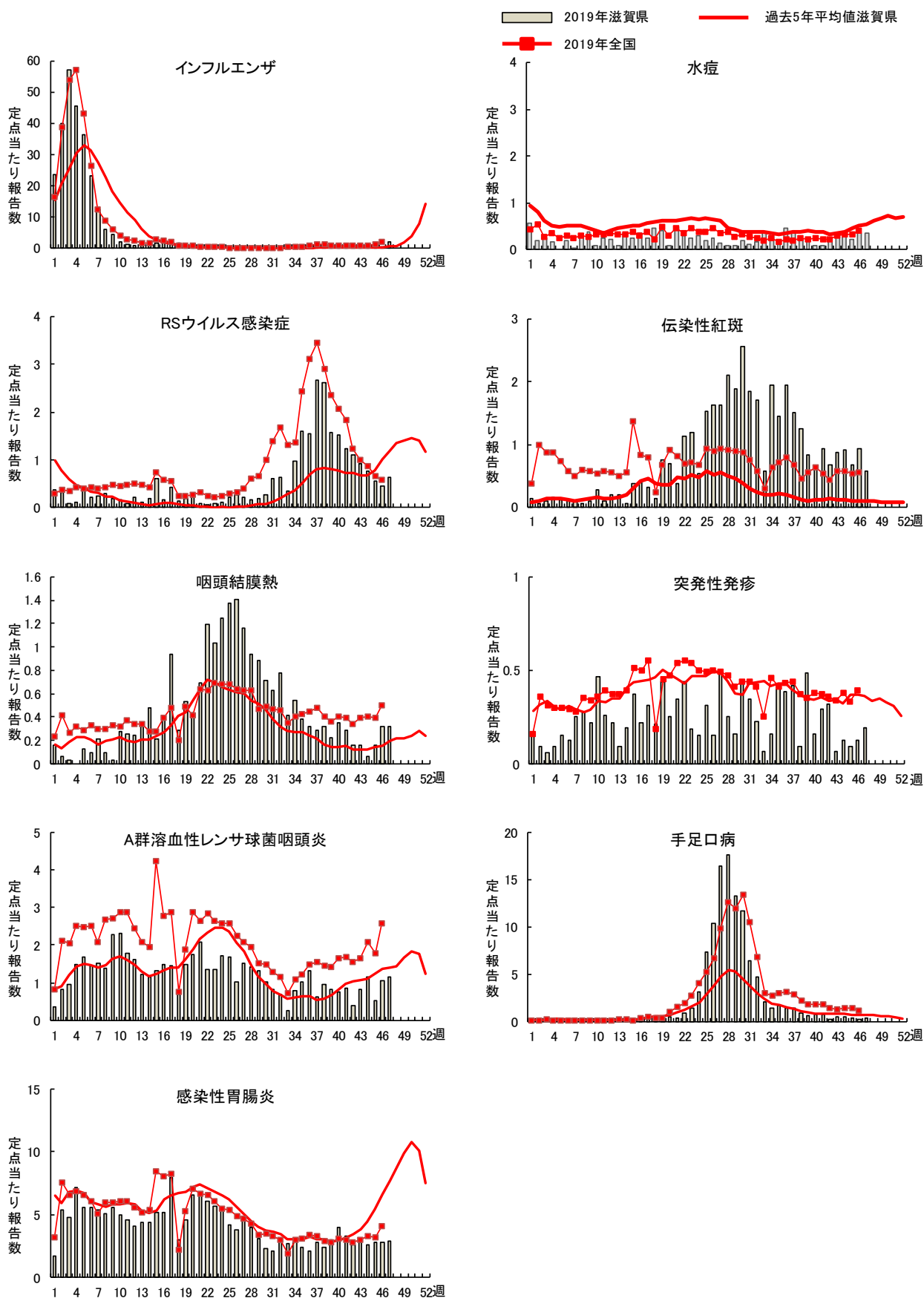
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	5～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	20	6	6	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	10	-	-	1	-	3	1	1	1	3	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	36	-	-	-	2	4	3	8	4	6	1	3	5	-	-
感染性胃腸炎	89	2	6	6	8	11	15	8	4	2	5	1	15	1	5
水痘	11	-	-	-	1	-	1	1	1	2	-	2	3	-	-
手足口病	11	1	2	-	-	3	1	1	-	-	-	2	-	-	1
伝染性紅斑 (リンゴ病)	18	-	-	1	1	-	5	3	1	2	3	-	2	-	-
突発性発しん	6	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	-	-	3	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	5	-	-	-	1	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

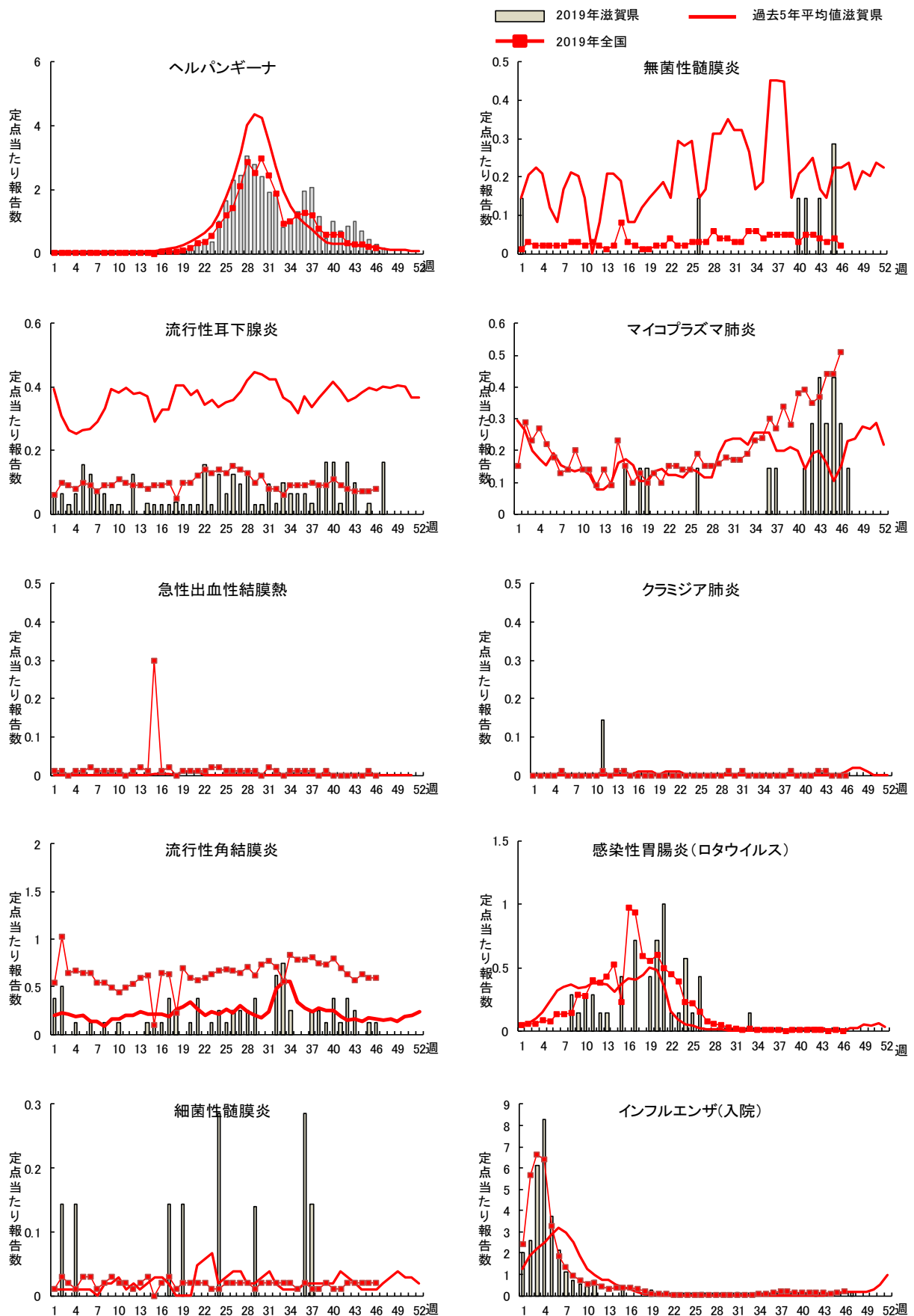
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	47	草津	80歳代	女	肺結核	国内	-
	結核	46	東近江	10歳未満	男	無症状病原体保有者	東近江市保健所管内	-
	結核	47	東近江	80歳代	男	肺結核	県内	-
四類	レジオネラ症	47	高島	80歳代	女	肺炎型	高島市保健所管内	-
五類	アメーバ赤痢	46	大津市	50歳代	男	腸管アメーバ症	国内	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	47	甲賀	70歳代	女	古典型	-	-
	水痘(入院例)	47	大津市	90歳代	女	検査診断	大津市保健所管内	ワクチン接種歴 不明
	梅毒	47	大津市	20歳代	男	早期顕症 I 期	-	-
	百日咳	47	大津市	10歳未満	男	-	大津市保健所管内	ワクチン4回接種

注目すべき感染症

1. インフルエンザ関連

- (1) インフルエンザ(国立感染症研究所) インフルエンザ(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-idwrc/9217-idwrc-1944.html>
- (2) 令和元年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

2. ノロウイルス食中毒注意報の発令(生活衛生課)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/syokunoanzen/16540.html>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(2019 年、全国は前週までの値) vi,vii

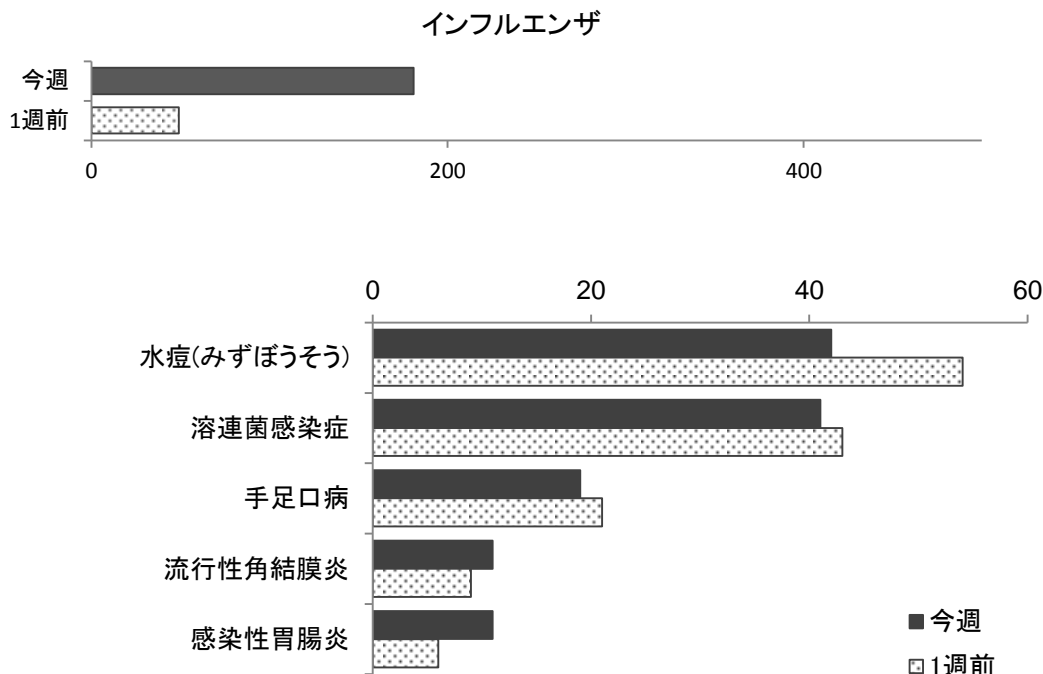
疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○		223 15.78	86 25.21	36 10.61	18 12.48	34 14.87	19 12.18	23 14.86	7 14.39	18675 14.71	235 16.63	21850 17.21
三類 細菌性赤痢			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	91 0.07	2 0.14	268 0.21
腸管出血性大腸菌感染症	○		68 4.81	7 2.05	48 14.14	5 3.47	4 1.75	1 0.64	2 1.29	1 2.06	3461 2.73	30 2.12	3844 3.03
四類 E型肝炎	○		1 0.07	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0.65	1 0	435 0.34	2 0.14	442 0.35
A型肝炎			2 0.14	0 0	1 0.29	1 0.69	0 0	0 0	0 0	0 0	397 0.31	1 0.07	925 0.73
重症熱性 血小板減少症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	96 0.08	0 0	77 0.06
チクングニア熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	44 0.03	0 0	4 0.00
つつが虫病			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	142 0.11	1 0.07	455 0.36
デング熱			1 0.07	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0.65	1 0	425 0.34	0 0	201 0.16
日本紅斑熱	○	○	2 0.14	0 0	0 0	0 0	2 0.87	0 0	0 0	0 0	296 0.23	0 0	303 0.24
レジオネラ症			23 1.63	2 0.59	5 1.47	0 0	6 2.62	2 1.28	6 3.88	2 4.11	2113 1.67	33 2.34	2130 1.68
五類 アメーバ赤痢	○		9 0.64	5 1.47	4 1.18	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	757 0.60	5 0.35	838 0.66
ウイルス性肝炎			2 0.14	2 0.59	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	296 0.23	1 0.07	269 0.21
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症			6 0.42	0 0	6 1.77	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1991 1.57	11 0.78	2253 1.77
急性弛緩性麻痺	-	-	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	67 0.05	1 0.07	139 0.11
急性脳炎			2 0.14	0 0	2 0.59	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	755 0.60	4 0.28	657 0.52
クリプトスポリジウム症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	19 0.01	0 0	25 0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		3 0.21	0 0	0 0	2 1.39	0 0	0 0	1 0.65	0 0	170 0.13	6 0.42	219 0.17
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症			8 0.57	1 0.29	1 0.29	1 0.69	3 1.31	0 0	2 1.29	0 0	807 0.64	10 0.71	687 0.54
後天性免疫不全症候群	○	○	11 0.78	6 1.76	2 0.59	1 0.69	1 0.44	1 0.64	0 0	0 0	1054 0.83	10 0.71	1292 1.02
ジアルジア症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	45 0.04	0 0.00	68 0.05
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○	○	8 0.57	2 0.59	2 0.59	0 0	3 1.31	1 0.64	0 0	0 0	480 0.38	7 0.50	483 0.38
侵襲性髄膜炎菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	43 0.03	0 0.03	37 0.03
侵襲性肺炎球菌感染症			24 1.70	5 1.47	7 2.06	3 2.08	5 2.19	3 1.92	1 0.65	0 0	2769 2.18	41 2.90	3299 2.60
水痘(入院例)			2 0.14	1 0.29	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	418 0.33	5 0.35	461 0.36
先天性風しん症候群			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 0	0 0	0 0
梅毒	○		30 2.12	13 3.81	3 0.88	2 1.39	11 4.81	0 0	1 0.65	0 0	5817 4.58	24 1.70	6923 5.45
播種性クリプトコックス症			1 0.07	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	132 0.10	2 0.14	178 0.14
破傷風			1 0.07	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	113 0.09	0 0	130 0.10
バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	○		1 0.07	0 0	0 0	0 0	1 0.44	0 0	0 0	0 0	70 0.06	2 0.14	79 0.06
百日咳	-	-	127 8.99	82 24.03	8 2.36	7 4.85	11 4.81	6 3.84	8 5.17	5 10.28	15226 12.00	141 9.98	11947 9.41
風しん	○		7 0.50	3 0.88	2 0.59	1 0.69	1 0.44	0 0	0 0	0 0	2263 1.78	12 0.85	2917 2.30
麻しん	○	○	9 0.64	1 0.29	3 0.88	2 1.39	0 0	0 0	0 1.94	0 0	731 0.58	1 0.07	282 0.22
薬剤耐性 アシネトバクター感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	24 0.02	0 0	24 0.02

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHPに掲載されています。

- 感染症発生動向調査 週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 病原微生物検出情報 (IASR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

- 感染症法に基づく医師の届出のお願い http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/info/300857.html>

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」



インフルエンザの発生動向 2019年47週 滋賀県

